

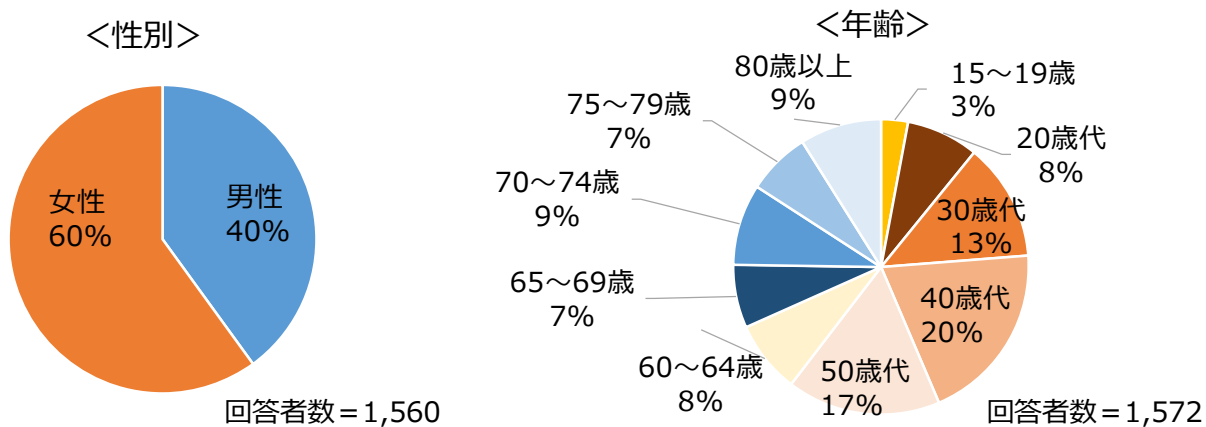
葛飾区 新小岩～細田・奥戸地域のバス交通に関するアンケート 集計結果

1 調査の概要

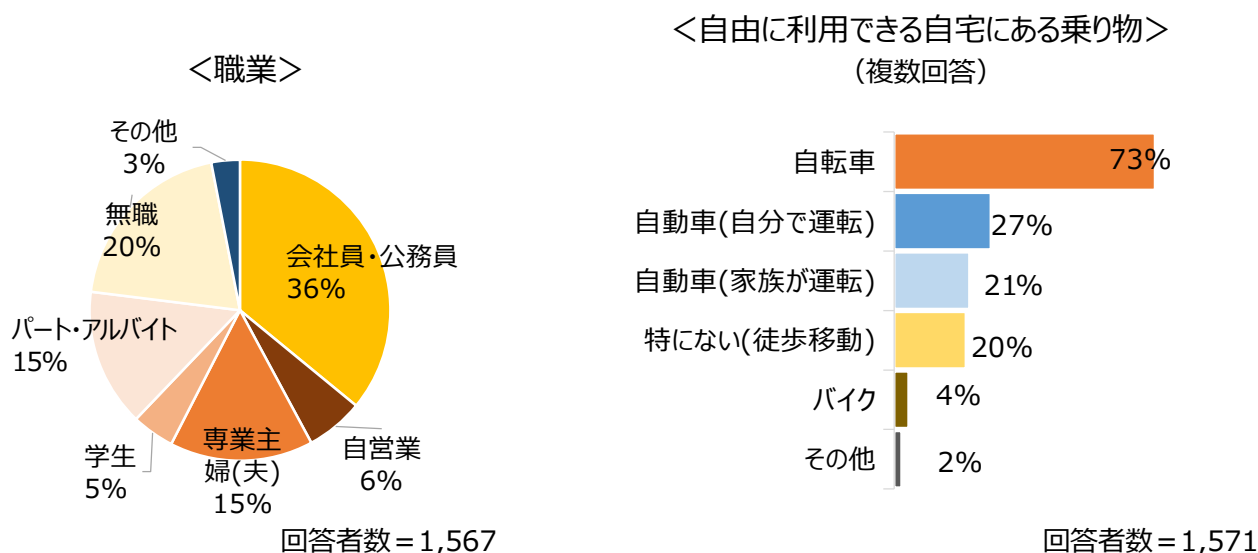
アンケートの目的	細田循環の沿線住民を対象に、沿線住民の属性・居住地、現在の路線バスの利用状況、細田循環の開設時の利用意向、今後の公共交通に関する意向を把握し、細田循環の運行計画に反映させるとともに、運行開始後の計画見直しの参考資料とすることを目的とする。
実施期間	配布：令和2年9月末に郵送配布 回収：令和2年10月を回答期限として郵送回収
対象者	住民基本台帳から無作為抽出した、細田循環沿線地域（※）の15歳以上の住民4,000人 ※奥戸4～9丁目、鎌倉1丁目、新小岩1・2丁目、西新小岩1丁目、東新小岩1～4丁目、細田1～5丁目
調査方式	調査票への記入方式
回答数、回収率	1,574票（回収率：39%）

2 調査結果

あなたご自身について



- ・ 回答者の性別は、男性が約4割、女性が約6割である。
- ・ 回答者の年齢は、40歳代が約2割（20%）で最も多く、次いで50歳代が2割弱（17%）である。65歳以上の高齢者は、全体の約3割（32%）である。



- ・ 回答者の職業は、会社員・公務員が約4割（36%）で最も多く、次いで無職が約2割（20%）である。
- ・ 自由に利用できる自宅にある乗り物は、全体の約7割（73%）が自転車と回答した。次いで、自動車（自分で運転）、自動車（家族が運転）となっている。

<住所>

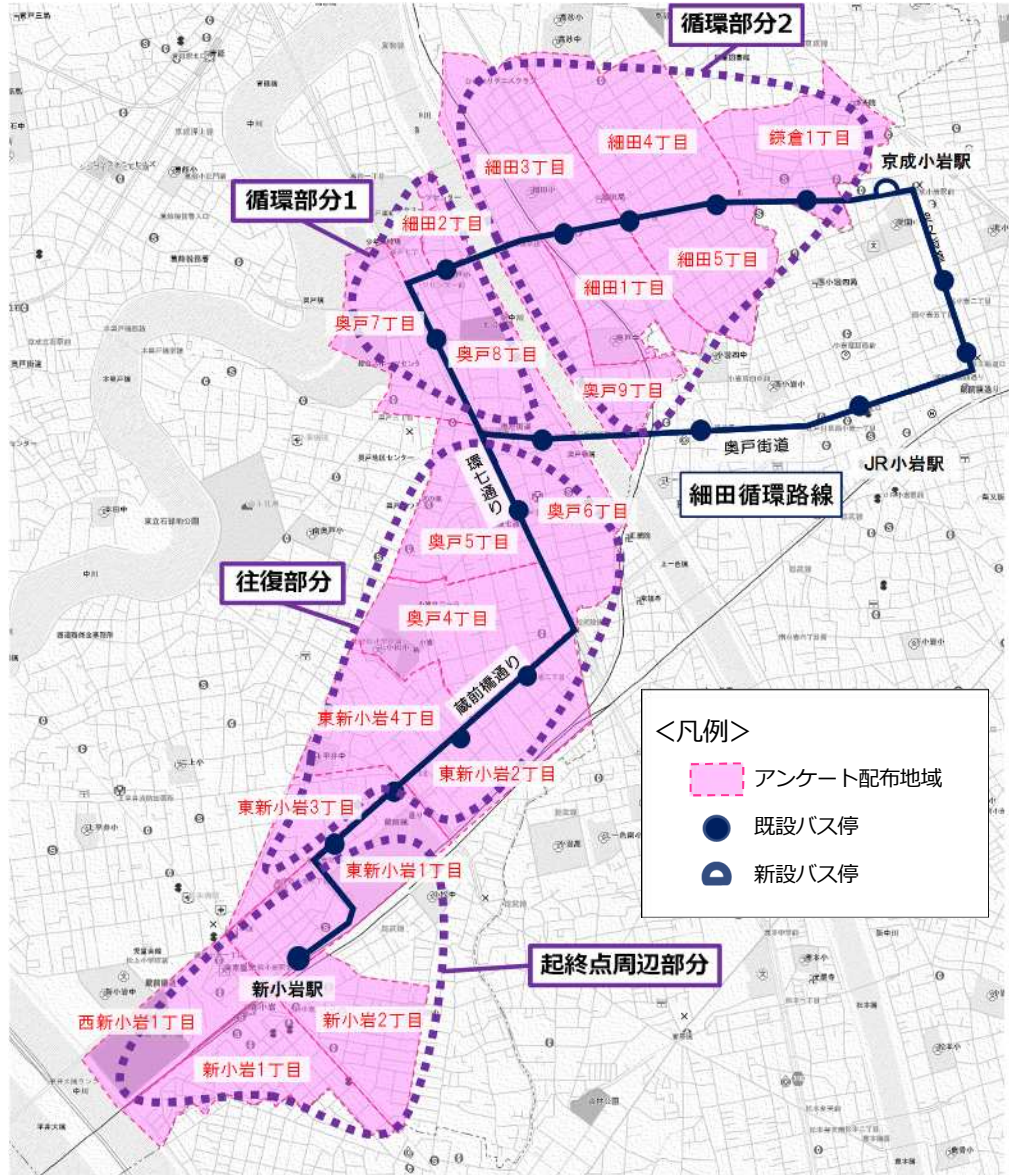


図 アンケート配布地域の分類

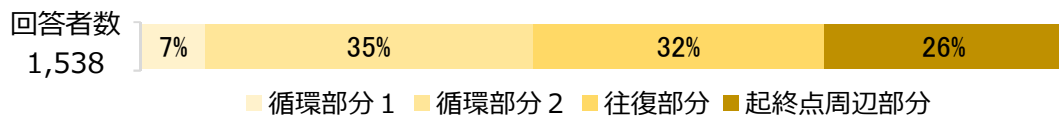


図 回答者の住所(地域分類)

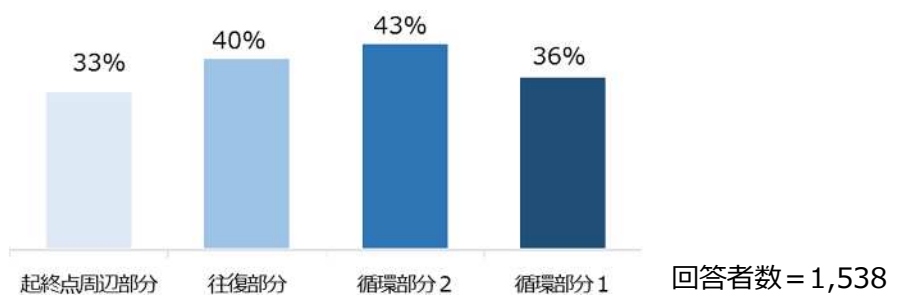
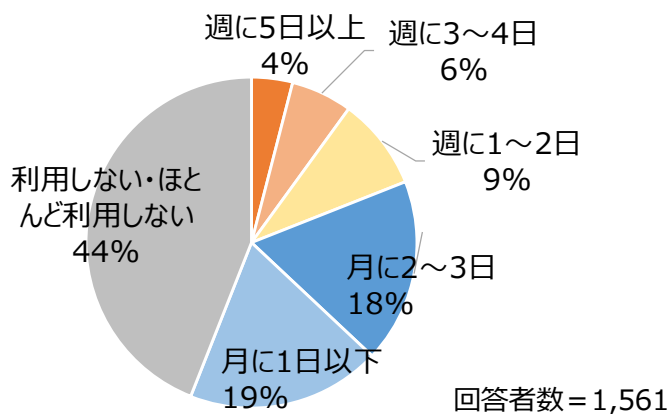


図 住所(地域分類)ごとのアンケート回答率

1 路線バスの利用について

問 1 あなたは路線バスをどのくらい利用していますか。



- ・ 路線バスの利用頻度は、「利用しない・ほとんど利用しない」が約 4 割と最も多く、次いで「月に 1 回以下」が約 2 割となっている。
- ・ 週に 1 日以上利用するのは約 2 割である。

問2 路線バスを利用して、どのような目的で、どこに行くことが最も多いか教えてください。

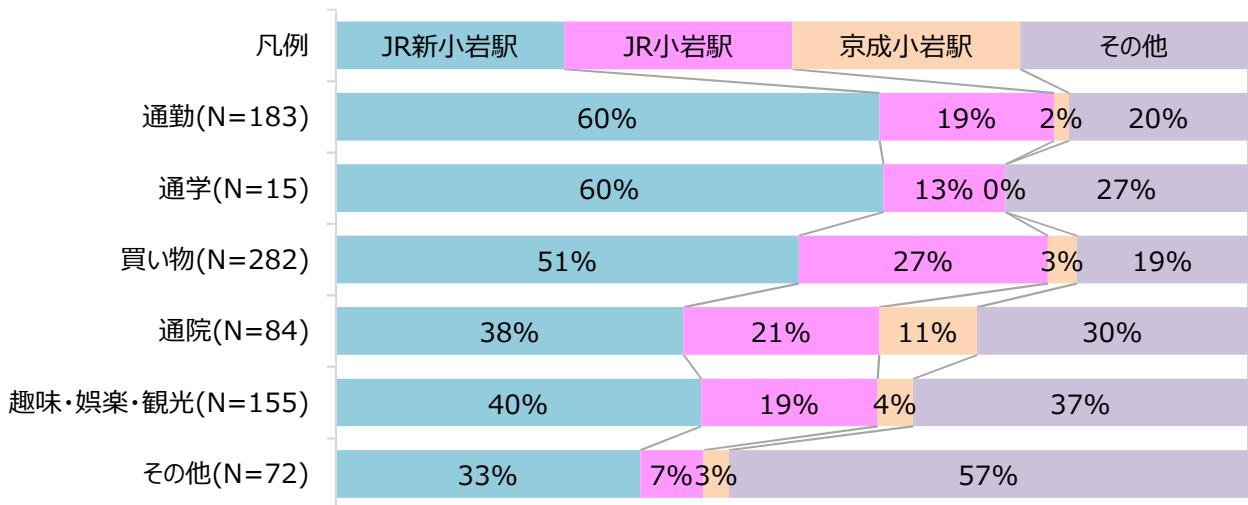
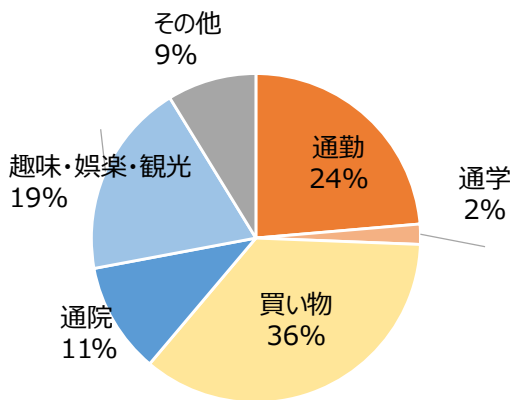
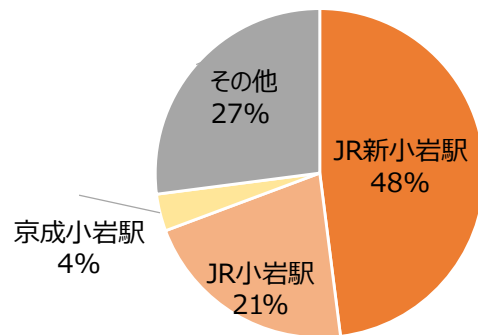


図 利用目的×行き先



回答者数 = 855

図 利用目的

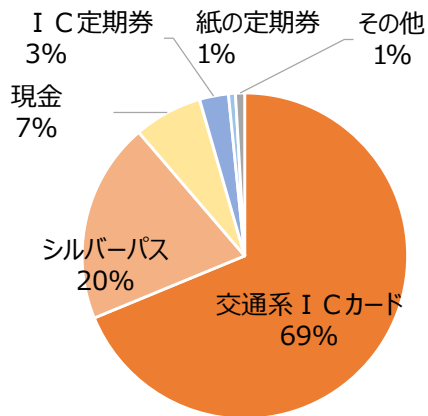


回答者数 = 802

図 行き先

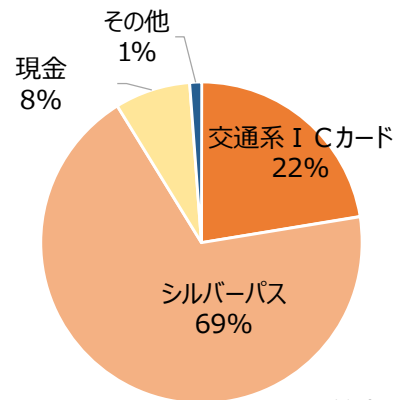
- ・ 路線バスを利用する目的は、「買い物」が最も多く約4割となっている。その内の約5割はJR新小岩駅、約3割はJR小岩駅が行き先となっている。
- ・ 「通勤」目的は、2割強となっている。その内の約6割はJR新小岩駅、約2割はJR小岩駅が行き先となっている。
- ・ 行き先はJR新小岩駅が最も多く約5割となっている。次いでJR小岩駅が約2割となっており、JR駅周辺への移動が多い。

問3 路線バス運賃の支払い方法で、最もよく利用するものを教えてください。



回答者数 = 869

図 回答者全体

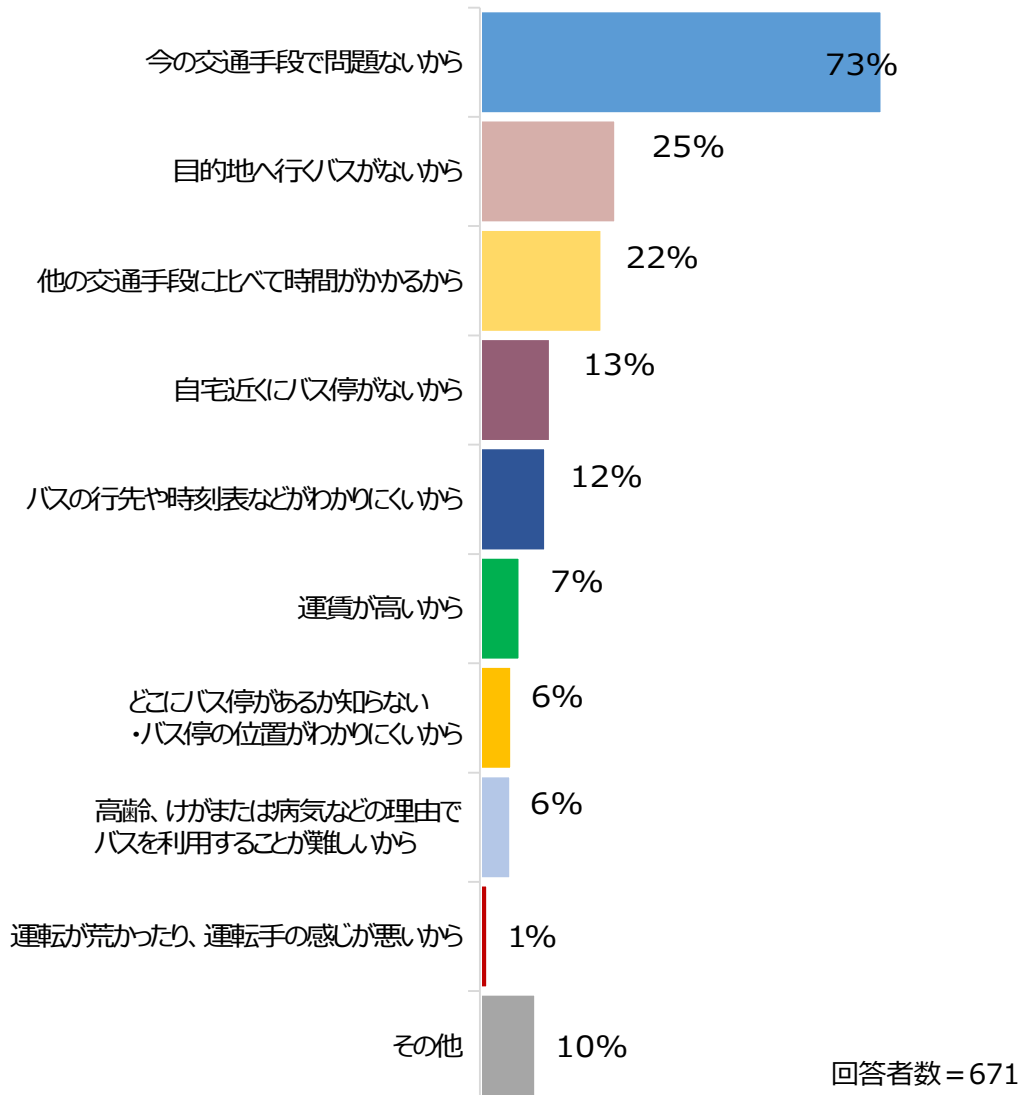


回答者数 = 250

図 70歳以上の回答者

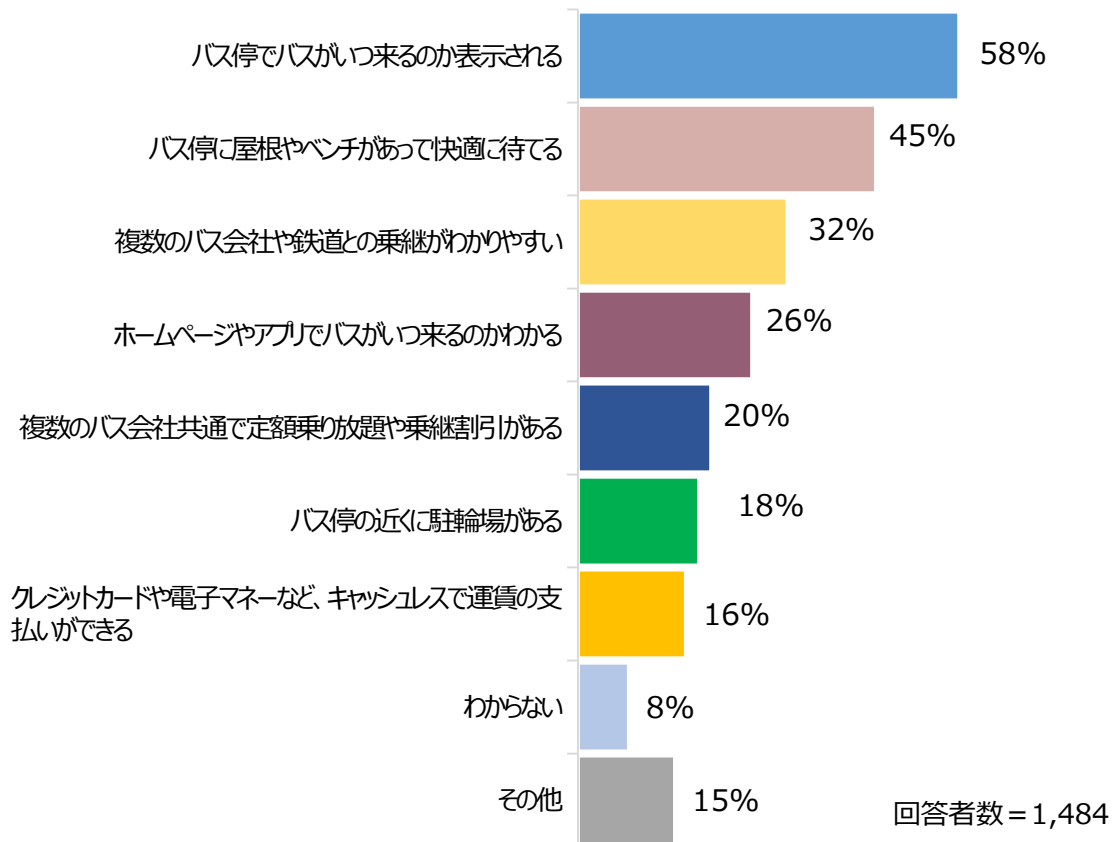
- ・ 回答者全体では「交通系 IC カード」が約 7 割であり、次いで「シルバーパス」が 2 割となっている。
- ・ 70 歳以上では約 7 割が「シルバーパス」となっている。

問4 路線バスを利用しない理由を教えてください。(問1で「利用しない・ほとんど利用しない」と回答した方のみ) (複数回答)



- ・「今の交通手段で問題ないから」を全体の約7割が回答しており、普段からあまり路線バスを利用しないことが要因となっている。
- ・「目的地へ行くバスがないから」が約3割、「他の交通手段に比べて時間がかかるから」が約2割、「自宅近くにバス停がないから」が約1割となっており、バスの運行ルート変更や所要時間の改善、バス停へのアクセス性によっては、バス利用に転換する可能性がある。

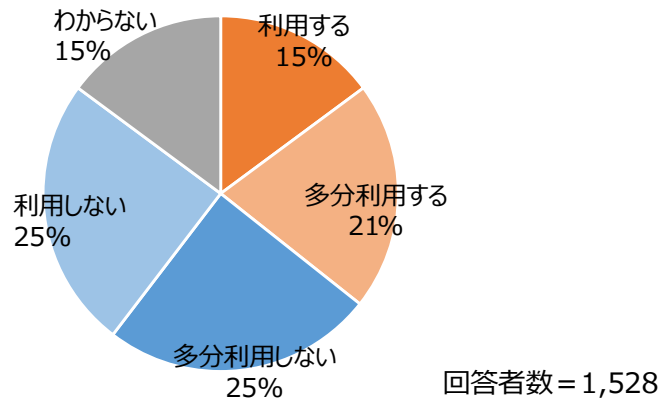
問5 どうなれば路線バスがもっと利用しやすくなると思いますか。



- ・「バス停でバスがいつ来るのか表示される」を約6割、「ホームページやアプリでバスがいつ来るのかわかる」を約3割が回答しており、情報提供に関する内容についてニーズが高い。
- ・「バス停に屋根やベンチがあって快適に待てる」が5割弱あり、バス停環境の充実についてニーズが高い。

2 (仮称) 細田循環路線について

問6 あなたは(仮称)細田循環路線を利用しますか。



- ・ (仮称) 細田循環路線の利用意向は、「利用する・多分利用する」で約4割となっている。

問7 (仮称) 細田循環路線は片方向回りで運行します。どちらの向きが良いと思いますか。
(問6で「利用する」「多分利用する」と回答した方のみ回答)

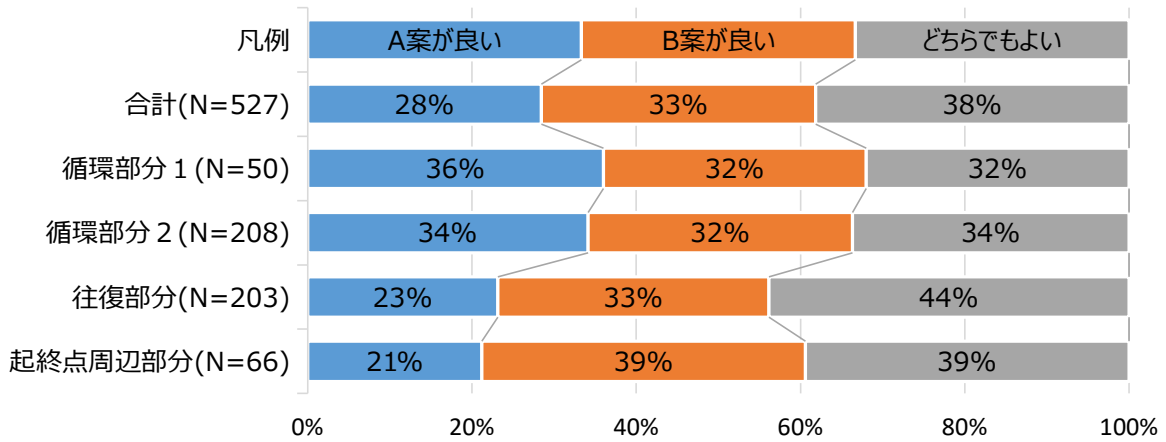
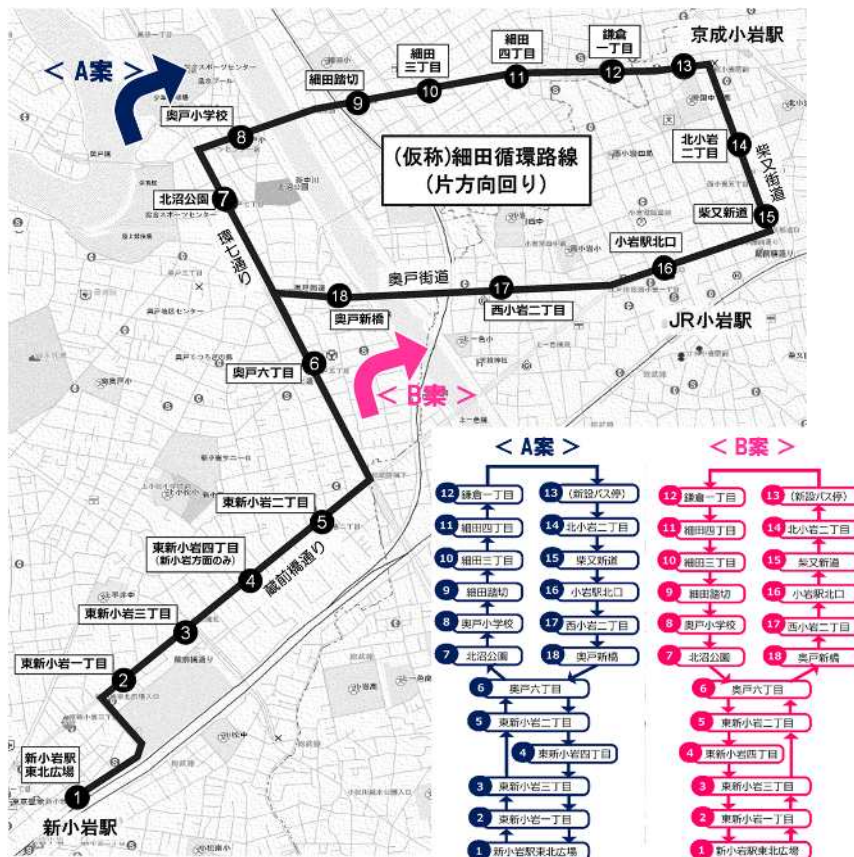


図 循環ルートの方角

循環部分1：細田2、奥戸7・8
 循環部分2：細田1・3～5、奥戸9、鎌倉1
 往復部分：奥戸4～6、東新小岩2～4
 起終点周辺部分：新小岩1・2、西新小岩1、東新小岩1

- ・ 循環ルートの方角について、全体で見た場合は、「どちらでもよい」が約4割で最も多く、「A案」「B案」はそれぞれ約3割となっており、「A案」「B案」で差はあまりない。



参考図 循環ルート

問 8 (仮称) 細田循環路線をどのくらいの頻度でどのような移動目的で利用すると思いますか。また、(仮称) 細田循環路線を利用する代わりに利用しなくなる交通手段を教えてください。(問 6 で「利用する」「多分利用する」と回答した方のみ回答)

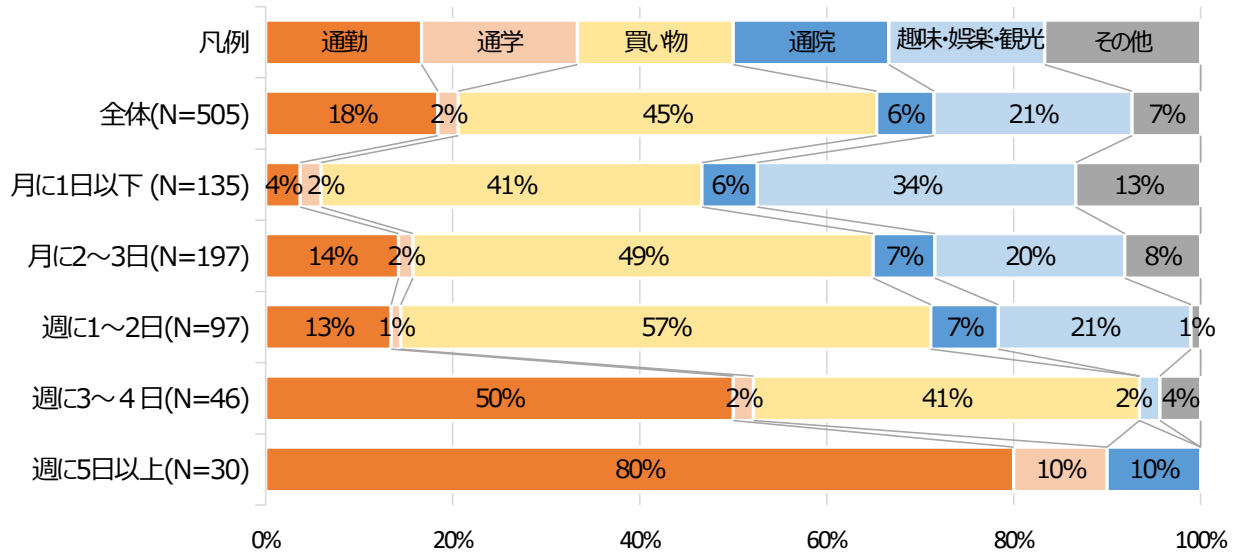


図 (仮称) 細田循環路線の利用頻度ごとでの移動目的

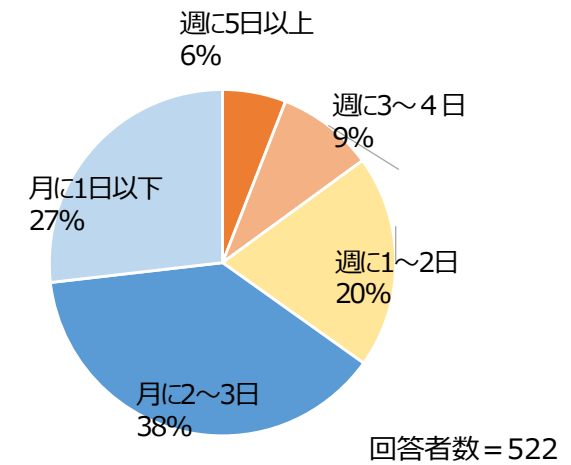
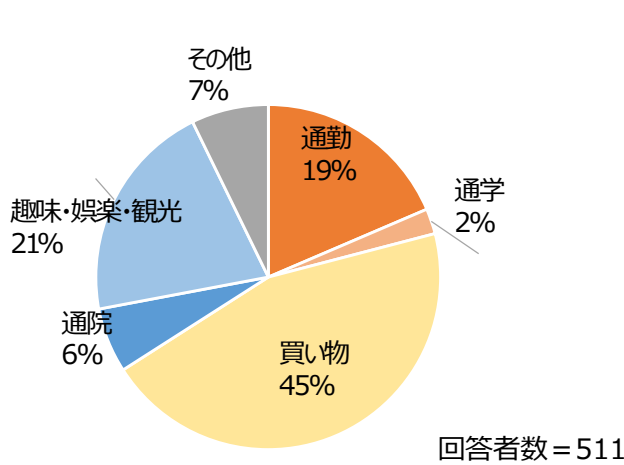
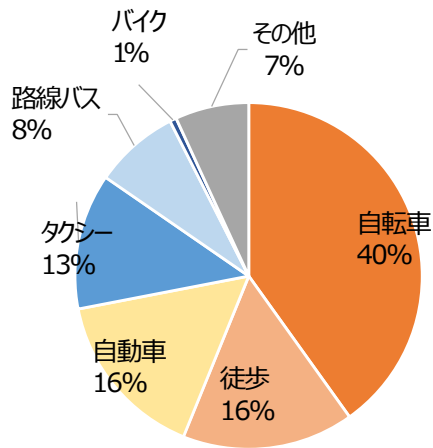


図 (仮称) 細田循環路線の移動目的

図 (仮称) 細田循環路線の利用頻度

- ・ 移動目的は、「買い物」が約 5 割で最も多く、次いで、「趣味・娯楽・観光」が約 2 割となっている。
- ・ 「週に 5 日以上」の利用では、移動目的は「通勤」が 8 割と最も多く、「週に 3 ~ 4 日」の利用でも「通勤」が最も多く約 5 割となっている。高頻度利用者の多くは通勤目的となっている。
- ・ 週に 2 日以下の利用では、移動目的は「買い物」が最も多く、次いで、「趣味・娯楽・観光」となっている。

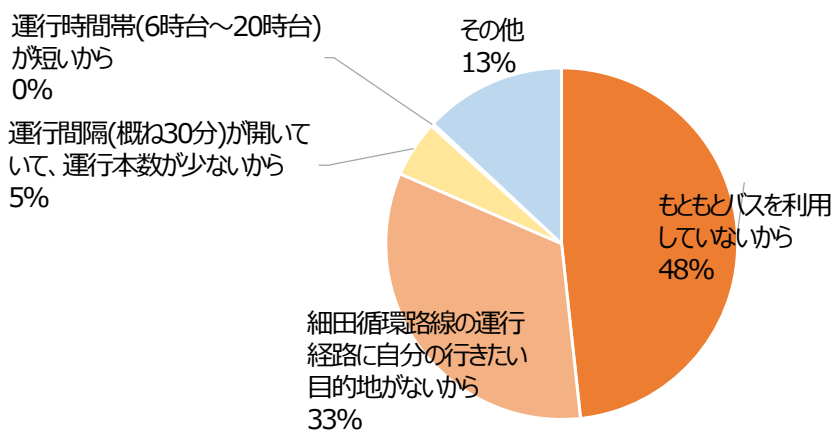


回答者数 = 481

図 利用しなくなる交通手段

- ・（仮称）細田循環路線を利用する代わりに利用しなくなる交通手段は、「自転車」が4割で最も多く、次いで、「徒歩」、「自動車」がそれぞれ約2割となっている。

問9 （仮称）細田循環路線を利用しない理由を教えてください。（問6で「利用しない」「多分利用しない」と回答した方のみ回答）



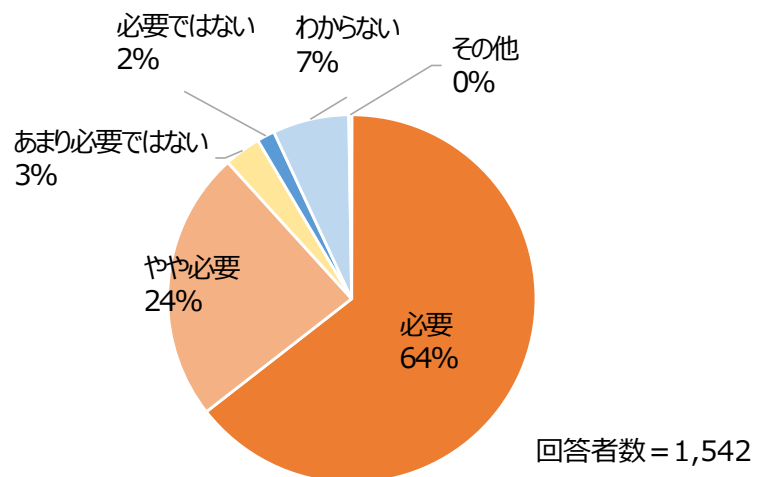
回答者数 = 729

図 （仮称）細田循環路線を利用しない理由

- ・「もともとバスを利用していないから」が約5割と最も多く、次いで「細田循環路線の運行経路に自分の行きたい目的地がないから」が約3割となっている。

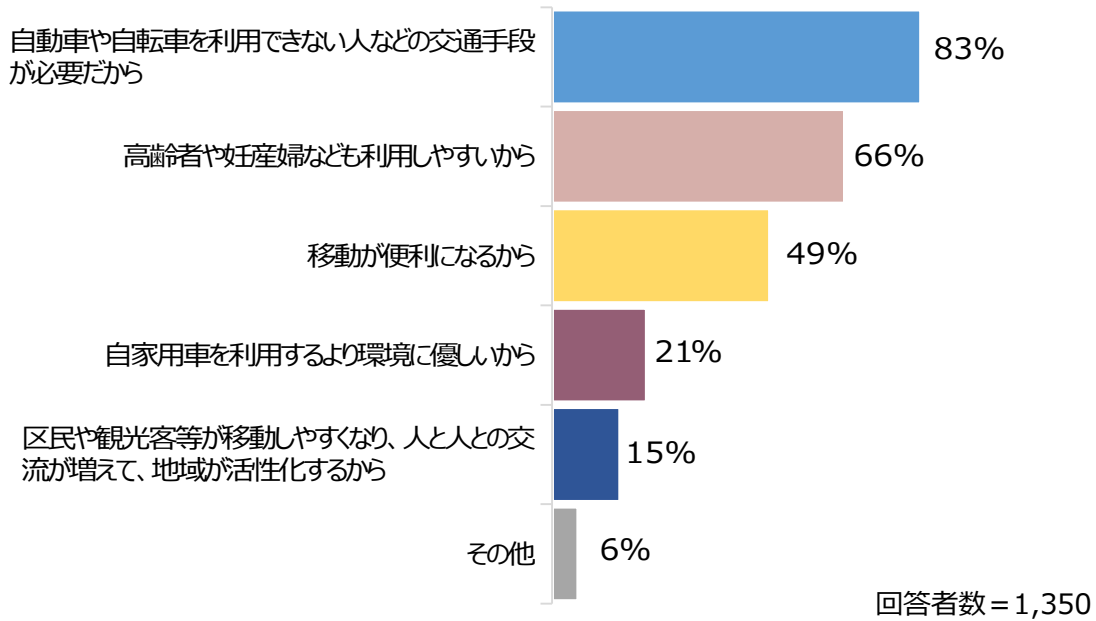
3 今後のバス交通等について

問 10 あなたは路線バスなどの公共交通を維持し、充実させることが必要だと思いますか。



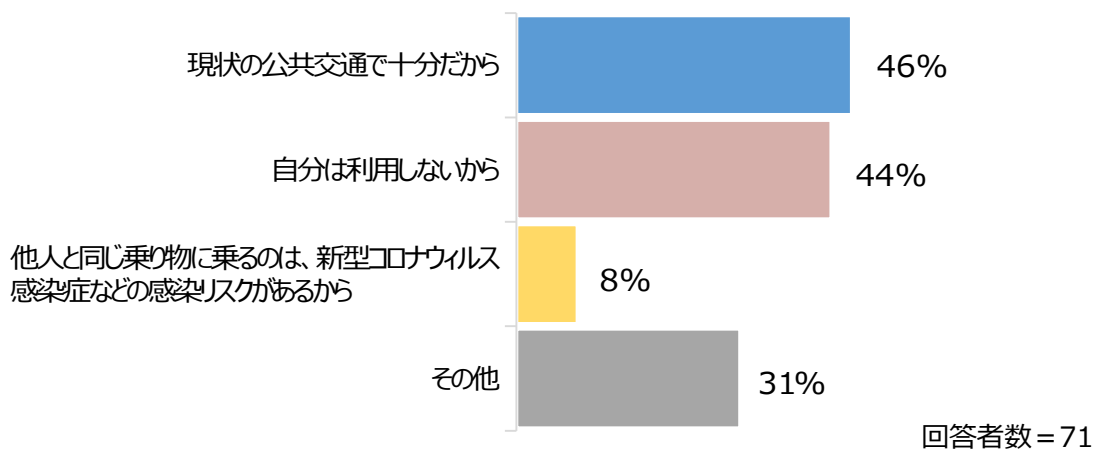
・「必要」と「やや必要」合わせて約 9 割となっており、公共交通の充実に対するニーズは高い。

問 11 公共交通の維持・充実が必要だと思う理由を教えてください。（複数回答）
 （問 10 で「必要」「やや必要」と回答した方のみ回答）



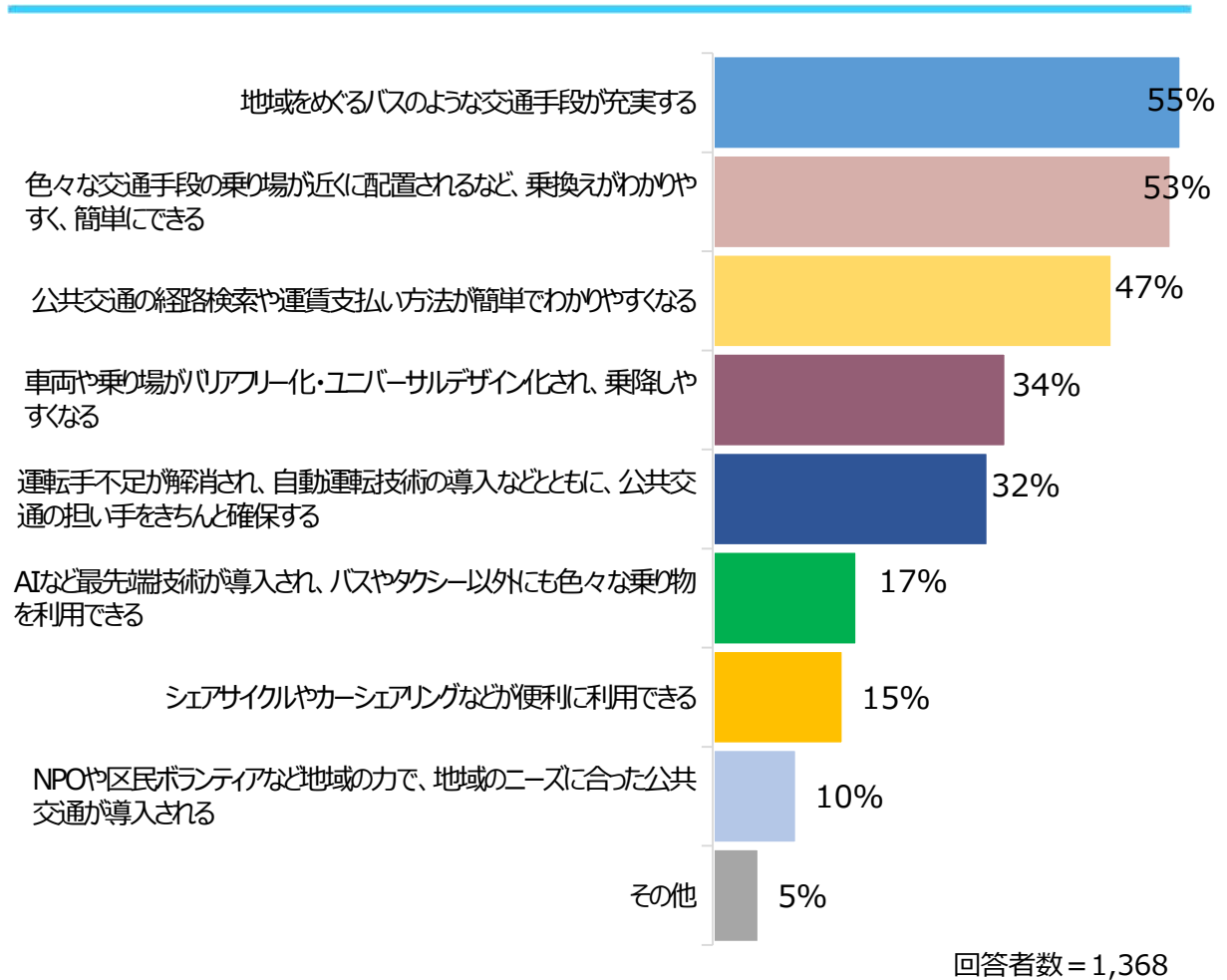
・「自動車や自転車を利用できない人などの交通手段が必要」を全体の約 8 割、「高齢者や妊産婦なども利用しやすい」を全体の約 7 割が回答しており、交通弱者に対する移動手段確保に関する理由が多い。

問 12 公共交通の維持・充実が必要ではないと思う理由を教えてください。（複数回答）
 （問 10 で「あまり必要でない」「必要でない」と回答した方のみ回答）



・「現状の公共交通で十分だから」を全体の約 5 割が、「自分は利用しないから」を全体の約 4 割が回答している。

問 13 わかりやすく・利用しやすい公共交通を実現するために、どのような事が必要だと思いますか。（複数回答）



- ・ 地域をめぐる交通手段の充実、乗り場へのアクセスや乗換えのしやすさ、車両や乗り場のバリアフリー化などのハードに関する項目はそれぞれ全体の約 3～6 割が回答しており、ニーズは高い。
- ・ 路線検索や運賃支払い方法の情報提供についても全体の約 5 割が回答しており、ニーズは高い。

4 自由意見

表 自由意見の類型



回答者数 = 640